

ながさき 県議会だより

2月定例会



審査した案件と結果

- 知事提出の議案
 - ・予算 35件(可決) ・条例 24件(可決)
 - ・事件 5件(可決) ・計画 1件(可決) ・人事 2件(同意)
- 議員等提出の案件
 - ・条例 2件(可決) ・意見書 4件(可決)
 - ・特別委員会の設置 1件(否決)

可決された意見書

- 離島・半島地域の振興対策に関する意見書
- 観光振興対策・国際戦略対策、IR対策、新幹線・二次交通対策に関する意見書
- 半導体・デジタル戦略対策、スタートアップの育成支援対策及び防災対策に関する意見書
- 東京一極集中の是正に向けた抜本的な改善策を求める意見書

「緑の募金」街頭募金活動を実施しました!

令和7年3月10日(月)に浜町アーケードにおいて「緑の募金」街頭募金活動を実施いたしました。当日は、37名の県議会議員が参加し、募金への協力を呼びかけました。皆様からお寄せいただきました募金額77,374円については、公益社団法人 長崎県緑化推進協会へお届けいたしました。皆様の温かいお気持ちに心より感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



計報

吉村 洋長 長崎県議会副議長は、去る2月26日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

〈副議長就任あいさつ〉

長崎県議会副議長にご選任いただきました大場 博文でございます。長崎県政においては、人口減少をはじめ、多くの重要な課題を抱える中で、議会の果たすべき役割は大きく、その責任の重さを感じております。微力ではありますが、徳永議長を支え、県政の課題解消と議会の円滑な運営に取り組む所存でありますので、県民の皆様方のご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



大場 博文

長崎県議会でも「いじめ反対」の意思表示!

2月26日は、『ピンクシャツデー』でした。長崎県議会も趣旨に賛同し、議員・理事者ともにピンク色のものを着用して「いじめ反対」の意思を示しました。



ピンクシャツデーとは

カナダの高校生から始まったいじめ防止のための取組で、毎年2月最終水曜日を『ピンクシャツデー』とし、ピンクシャツを着たりピンク色のものを身に着けるもので、現在180か国以上で実施されています。

令和7年2月定例会が開催され、活発な論議が交わされました。

令和7年2月定例会は、2月21日から3月19日まで開かれました。開会初日は、3つの特別委員会から委員長報告が行われた後、離島半島地域の振興対策に関する意見書など3件の意見書を可決しました。次に、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定するとともに、離島半島地域振興特別委員会、観光・新幹線対策特別委員会及び成長産業・県土強靱化対策特別委員会の設置とその構成等を決定しました。また、令和7年度長崎県一般会計予算などの議案が上程され、大石知事が県政の重要事項について報告、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。一般質問では、12名の議員が登壇し、知事の政治姿勢、看護士確保、確保対策、ごみ・福祉施設、観光振興対策、教育行政、福祉施設、観光振興対策など、様々な事項について活発な論議が交わされました。また、常任委員会においても、予算議案等について本定例会では、令和7年度一般会計予算(7,347億3,620万9千円)を含む69件の議案を原案のとおり可決・同意したほか、大石知事の選挙資金・政治資金、並びに公務員と公務の混同に関する調査特別委員会の設置(否決)・東京一極集中の是正に向けた抜本的な改善策を求める意見書(可決)など4件の意見書を可決・閉会しました。

一般質問

子どもの権利擁護について

山田 朋子 (佐世保市・北浦郡/改革21)

【質問】社会的養護下で暮らす子どもの意見表明機会を確保すべきと考えるが、今後の取組は。

【答弁】これまで養育施設など子どもの意見を代弁する外部機関の委託なども含め、全ての施設で対応可能となる体制整備を早急に進めてまいります。

国際航空路線の利用促進について

外間 雅広 (佐世保市・北浦郡/自由民主党)

【質問】本県の国際航空路線の更なる利用促進を図るため、観光に限らずビジネスや文化、スポーツ等の様々な分野における交流促進に向けて経済界等を巻き込んだ相互往来につながるような特別なキャンペーンを実施する考えは。

【答弁】長崎空港開港50周年を契機として、長崎空港ビルディング等とも連携し、県民や県内自治体、経済団体を対象に上海やソウルを訪れるキャンペーンを企画するなど、官民一体となって国際航空路線の利用促進の機運醸成を図ってまいります。

造船業への支援について

瀬川 光之 (西海市/自由民主党)

【質問】造船業は、サプライチェーンの裾野が広く、地域の経済や雇用を支える極めて重要な本県の基幹産業であるが、県内造船業の現状は。また、本県造船業の柱である大島造船所に対して県ではどのような支援策を講じているか。

【答弁】本県の造船業は、ここ数年、国際的な環境規制の強化等に対応した船舶需要の拡大等により、回復基調にある。また、大島造船所に対しては、県内中小企業と連携した需要獲得を目指す取組等を支援しており、本県の基幹産業である造船関連産業のさらなる振興に努めてまいります。

教育行政について

中島 浩介 (南島原市/自由民主党)

【質問】公立高校入試制度において、本県のスポーツ強豪校で活躍したいという県外からの生徒を受け入れ、県内生徒と切磋琢磨する環境を整えることが、地域活性化にもつながるのではないか。

【答弁】学校の魅力化や活性化を目的として県外生徒を受け入れる制度を設けており、今年度から、県外からの募集生を大幅に拡充している学校もある。今後も受入体制の確保も含めた生徒募集に努め、学校の特色化・魅力化を進めてまいります。

「人権尊重に関する県条例」の制定へむけた認識

坂本 浩 (長崎市/改革21)

【質問】本県議会では「人権尊重に関する条例」の制定を求める意見書を全会一致で採択し、知事に提出しているが、現時点で条例制定に関する県の認識を伺いたい。

【答弁】人権尊重に関する条例は、制定に際しては人権尊重に関する条例の制定を求め、意見を全会一致で採択し、知事に提出しているが、現時点で条例制定に関する県の認識を伺いたい。

不登校児童生徒の健康診断受診状況について

坂口 慎一 (諫早市/自由民主党)

【質問】不登校児童生徒が健康診断を受診しないことによる健康被害のリスクが、見過ごされつつあるなど、子どもたちの健康に影響を与えている事例もあつたが、未受診者もあつたように見えるため、どのような対応や支援をしていくのか。

【答弁】これまで各学校において個々の事情を踏まえた対応を行っているが、今後、設置者も一緒に取り組んでいく必要がある。市町の担当者を集めた会議等において、様々な取組事例を情報共有するなどの、各学校における健康診断の円滑な実施に向けて取り組んでまいります。

水産加工施設整備について

宅島 寿一 (雲仙市/自由民主党)

【質問】本県水産物の輸出拡大を図るうえで、欧米向け輸出の多くは県外の加工施設を経由して出荷されているといった課題がある。県内に輸出拠点となる加工施設を整備すべきと考えるが、県は県漁連と連携して、どのように取り組んでいるか。

【答弁】県漁連では、必要な加工場の規模・能力や関連施設の再配置等も含めた検討が行われ、県も必要な助言指導を行っている。引き続き、必要な具体的な計画づくりを後押ししてまいります。

依存症対策について

ごうまなみ (長崎市/自由民主党)

【質問】依存症は、本人に病識がないことや、薄いことから、相談から回復に向けた支援にうつないでいくのが重要であると考え、県の対応は。

【答弁】県では、依存症に関する相談窓口を設けており、一般住民を対象とした依存症の研修会や、高校・大学における講話の機会などを捉えて、相談窓口の周知に取り組みしている。相談者には、保健所・保健センターの面談を行うほか、専門医療機関や自助グループを紹介するなど、相談者に寄り添った対応に努めてまいります。

宇久島のメガソーラー発電事業について

白川 鮎美 (長崎市/改革21)

【質問】県は令和元年度に農業振興地域整備計画の変更を決定しているが、その後の経過は。また、必要となる関係者の承諾を得ていないが、判断の経緯を伺いたい。

【答弁】計画の変更については、法に基づき市町が県の同意を得て決定するもの。県は必要となる関係者の承諾を得ていないが、判断の経緯を伺いたい。

女性が活躍できる職場づくりについて

大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)

【質問】結婚・出産・育児をする世代の減少は地域の持続可能性に大きく影響するが、本県における女性の転出超過の現状と県の認識は。

【答弁】本県の女性の転出超過の状況については、令和元年度以降、毎年3千人前後で推移しているが、令和6年は約2千人に改善した。若い女性の県内雇用拡大は重要と認識しており、引き続き女性の活躍を促すための取組を進めてまいります。

電停のバリアフリー化について

中村 俊介 (長崎市/自由民主党)

【質問】移動の円滑化及び長崎スタジアムシティの開業効果を高める意味でも、旧宝町電停の平面接続化は喫緊の課題と考えるが、県の見解は。

【答弁】旧宝町及び旧宝町電停は、スタジアムシティ開業に伴う利用者の増加が見られ、高齢者や障がい者の移動を円滑にするバリアフリー化は重要な課題と認識しており、周辺道路や2つの電停の利用状況を踏まえ、関係機関と検討を進めてまいります。

上下水道施設の老朽化対策・維持管理について

山村 健志 (諫早市/自由民主党)

【質問】上下水道の整備は、料金収入による企業会計で行われており、急激な老朽化が進む中、その対策のための財源確保が重要だが、県の認識と今後の取組は。

【答弁】本県は離島半島地域が多い等の地理的要因により、非効率な施設配置を余儀なくされ、人口減少に伴う料金収入減により、上下水道の経営環境が厳しくなることが想定されることから、補助金の高上げや補助金の安定的な算定確保を求め、引き続き、強く働きかけてまいります。

常任委員会

予算決算委員会	農水経済委員会	観光生活建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会
委員長/近藤 智昭	委員長/清川 久義	委員長/坂口 慎一	委員長/中村 泰輔	委員長/鶴瀬 和博
【質問】スクールカウンセラー活用事業費に関し、教育支援センター等にスクールカウンセラーを新たに12名配置することだが、その意図は。	【質問】長崎県「推し魚」第1号の選定に関し、新上五島町の養殖クロマゴロが選定されたが、この取組をどのように広げていくと考えているのか。	【質問】ながさきビーズ文化祭2025に関し、全体の事業費はどの程度か。また、参加者の目標数、その受入体制はどのように整備するのか。	【質問】県立高校再編に関し、子どもの数が減少していく中、募集定員と入学人数との間に乖離がある状況に対し、県立高校再編を推進する時期に差をどう考えるか、再編整備の方針をいつ頃までに示すのか。	【質問】島原鉄道のあり方検討に関し、昨年12月の島原鉄道活性化検討部会後、現在までどのような協議が行われたのか。また、今後のスケジュールは。
【答弁】スクールカウンセラーによるカウンセリングは、児童生徒が在籍する学校において受けることになっているが、不登校となる学校に行きづらさを感じており、活用につながる可能性があるため、新たに、不登校に特化したスクールカウンセラーを教育支援センター等に配置することにより、センター等に過剰な児童生徒の心のケアに対応することとする。	【答弁】新上五島町では、島内での食事に加え、養殖場の餌やりの見学などが予定されている。水産部だけでなく、関係部局とも連携し、「推し魚」を主玉に魚を呼び込むかたちでできるよう、町や地元協議会等ともよく話し合いながら、より広がっていくやり方を考えていきたい。	【答弁】全体の事業費は、令和3年度から令和7年度にかけて、合計で約11億3,100万円である。また、イベント出演者等を合わせた総参加者数の目標は、延べ190万人であり、トラベルセンターを設置するなど全国からの来県者に対応できる受入体制の整備を進めている。	【答弁】過去この15年間は、高校の統廃合を行わずに学級数を減らすことで対応してきたが、この先15年後を見据えると、再編は避けられないため、第3期県立高等学校改革基本方針の中間年である令和8年度早期に再編の大枠となる大綱を示したい。	【主な論議事項】長崎県次期総合計画及び第2期長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略(九州新幹線西九州ルート)・議員の政務への関与/沖繩県先島諸島からの避難住民の受入れ等
【主な論議事項】データ連携基盤運営委託費/長崎県FIT誘客インバウンド推進事業費/半導体関連産業サプライチェーン強化推進事業費 等	【主な論議事項】長崎県工業技術センター条例の一部を改正する条例/外国人材の受入れ/県内漁協の状況/親元就職者への支援 等	【主な論議事項】長崎県環境保健研究センター条例の一部を改正する条例/インフラツーリズム/県営バス運転士の確保 等	【主な論議事項】長崎県子ども未来応援基金条例/高校授業料の無償化/開業医の経営状況 等	

特別委員会の意見書

成長産業・県土強靱化対策特別委員会	観光・IR・新幹線対策特別委員会	離島・半島地域振興特別委員会
委員長/坂口 慎一	委員長/山田 朋子	委員長/清川 久義
【半導体・デジタル戦略対策、スタートアップの育成支援対策及び防災対策に関する意見書】において	【観光振興対策・国際戦略対策、IR対策、新幹線・二次交通対策に関する意見書】において	【離島・半島地域の振興対策に関する意見書】において
①半導体・デジタル戦略対策について、半導体関連産業の更なる集積に向けたアンカー企業等の立地に対応できる工業団地の早急な整備、産業人材の育成・確保に向けた取組の充実、ドローンやメタバース等の新技術の活用促進、新技術実装連携「絆」特区の指定を踏まえた施策の展開。	①観光振興対策・国際戦略対策について、インバウンドの更なる回復に向けた観光情報発信の強化、国際定航路路線等の誘致拡大、観光関連産業における人材の確保・育成、本県の魅力を活かした観光コンテンツの造成・充実に取り組みすること。	①離島・半島地域の振興対策について、半島振興法の延長に向けた国の支援措置の拡充等に係る政府等への要望、廃校跡地等の遊休施設の移住者向け宿泊・企業誘致等への活用、農林水産業におけるコストを反映した価格形成を促す環境整備。
②スタートアップの創出と起業の機運醸成に向けた、CO-DEJIMA等のスタートアップ交流拠点の更なる活用促進。	②IR対策について、プロジェクトにより得られた知見を活かし、IRに代わる実効性のある、佐世保市をはじめとする県北地域振興策を、全庁を挙げて強力に推進すること。	②有人環境離島法対策について、同法の改正・延長に向けた関係市町等の意見を踏まえた政府等への要望、雇用機会拡充事業により創出された雇用の場に対する人材確保。
③孤立集落対策、避難所環境の改善、防災教育及び人材育成等において、市町、防災関係機関、民間、ボランティア団体等の様々な担い手と連携し、着実な推進を図ること。	③新幹線・二次交通対策について、北陸新幹線と一体的な財源確保、フリーゲートレーン導入断念の経緯を踏まえた地方負担の見直し、諸課題の解決に向けた佐賀県との協議など、政府・与党、JR九州や関係先への働きかけを強化すること。	③離島・半島振興法対策について、島原半島と近隣県を結ぶ半島航路の活性化に向けた取組、離島航空路線の安全かつ安定的な運営。
	などを要望した。	④関係人口拡大対策について、離島留學制度の魅力度向上、地域の魅力をいかした県内周遊につながる観光まちづくりなどを要望した。

常任委員会、議会運営委員会、及び特別委員会委員名簿	予算決算委員会	農水経済委員会	観光生活建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会
委員長/近藤 智昭	委員長/近藤 智昭	委員長/清川 久義	委員長/坂口 慎一	委員長/中村 泰輔	委員長/鶴瀬 和博
副委員長/大久保 堅太	副委員長/虎島 泰洋	副委員長/白川 鮎美	副委員長/清 亮太	副委員長/虎島 泰洋	副委員長/宮本 浩一
委員/田中 愛国 外間 雅広 山田 朋子 川崎 祥司 深堀 ひろし 山本 由夫 宅島 寿一 堤 典子 中村 俊介	委員/中山 功 溝口 美穂 前田 哲也 中島 浩介 松本 洋介 近藤 智昭 坂本 浩 本多 泰邦 志 浩一	委員/清川 久義 白川 鮎美 大場 博文 宮本 浩一 石本 政弘 大庭 聡	委員/坂口 慎一 清 亮太 小林 克敏 堀江ひとみ 浅田ますみ 山口 初實 中村 一三 まきや大和 富岡 孝介 畑島 晃典	委員/中村 泰輔 虎島 泰洋	委員/鶴瀬 和博 宮本 浩一 川崎 祥司 近藤 智昭 大場 博文 清川 久義 畑島 和博 まきや大和
委員長/大場 博文	委員長/大庭 聡	委員長/大庭 聡	委員長/大庭 聡	委員長/大庭 聡	委員長/大庭 聡
副委員長/大庭 聡	副委員長/大庭 聡	副委員長/大庭 聡	副委員長/大庭 聡	副委員長/大庭 聡	副委員長/大庭 聡
委員/大庭 聡	委員/大庭 聡	委員/大庭 聡	委員/大庭 聡	委員/大庭 聡	委員/大庭 聡

お知らせ 本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題欄の二次元コードから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ会議録 会議録全文を掲載しています。平成8年2月～令和6年11月定例会の本会議・常任委員会 平成24年4月～令和7年1月分の特別委員会 ※本会議・委員会は、原則としてだれでも傍聴できます。長崎県議会 検索

公式SNS 県議会公式SNS (X(旧Twitter), Facebook) はこちら→

次回定例会 次回の定例会は、令和7年6月16日(月)に開会予定です。

テレビ放送 「県議会レポート」 令和7年4月26日(土) 13:30~14:00 NCC長崎文化放送 5ch